

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成31年3月19日
第854号

〒952-1209 佐渡市千種丙 178 番地 1
Tel : 0259 (63) 4156 (直) 4115 (代) Fax : 4117
<http://kanai-es.sado.ed.jp> E-mail : skotoba@sado.ed.jp



毎年1年を振り返ると「あっという間」に感じます。楽しかった日、悲しかった日、苦しかった日、毎日「自分」と向き合い、その1日を365回繰り返す。当たり前のようで、本当はすごいことなのかもしれません。周りの人たちと顔を合わせ、「今年も1年がんばったね」と笑顔で1年を締めくくりたいですね。

教育メディエータさんがいてくれたなら

佐渡総合病院 小児科
岡崎 実

この頃、学校ではいろんな気持ちの衝突が発生しています。みんなそれぞれが一杯一杯でゆとりがなく、「私はやることやっています」と語る。がんばっている人同士、その双方に相手に分かってもらいたい気持ちや考えが充満しています。

その組み合わせは、子どもと担任、保護者と教師、通常学級と支援学級、管理職と教育委員会、さまざまです。目の前の当事者の困惑を知る私どもはその辛さを受容し共感して応援しています。しかし、なかなかその衝突を解消できません。

愛知教育大学では「教育メディエータ」を養成しているそうです。当事者それぞれの認識の違いを仲介して協働を助ける役割です。今、医療の場では、患者さんと医者との衝突、気持ちのすれ違いをとりもつ「医療メディエータ」の有用性が知られています。

佐渡の学校にもそうした教育メディエータがいてくれたら、あるいは、その役割をしてくれる方がいたら、子どもたちが学校でもっと安心して成長できますね。

グループ活動 またやりたいね

ことば・こころの教室の指導は、お子さんと担当者との1対1で行うのが基本です。しかし、学習内容やねらいによっては、グループ学習が効果的な場合があります。

近隣の学校の児童数名が集って活動する楽しさや喜びは格別です。

Aさん、Bさん、Cさん、Dさんには、「言い始めの音を繰り返したり伸ばしたりしないで、楽に話したい。」という共通の願いや思いがあります。グループ活動では、楽しみながら声を出す機会として漢字カルタに取り組んでいます。読み札のほとんどが、上の句5文字、中の句7文字、下の句5文字の言葉でできているので、リズムにのって読んだり唱えたりするのに最適です。支援者が上の句を言いかけると、続きを覚えているお子さんが口々に言い出し、先を争って絵札を取ります。その勢いは目を見張るほどです。

今後も機会を作って、グループ活動を行いたいです。(逸見)



親の会コーナー



終了式および終了者懇話会を行いました

3月18日に、佐渡ことば・こころの教室終了式および終了者懇話会が金井小学校で行われました。当日は、12人の終了者と、その保護者が参加してくださいました。御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

また、文集作成にあたり、終了されるお子様の保護者の皆様からは感想文をいただきました。感謝申し上げます。お子様の成長に対する不安や苦労、喜び、保護者の皆様のお子様への強い思いを感じ、佐渡ことば・こころの教室が存在する意義を改めて考えさせられました。終了されたお子様と保護者の皆様が素晴らしい人生を歩んでいかれることを、担当者一同願っております。



「ことば・こころの教室の思い出」 (通級終了児童)

わたしのことば・こころの教室の思い出は四つあります。一つ目は、写し絵ができるおもちゃ。二つ目はパクパク魚つり。動いている魚をつかまえるところがおもしろかったです。三つ目はダブルです。同じ動物を見つけるのがおもしろかったです。四つ目は、つりの体験ができるゲームです。糸をぐるぐるするところがおもしろかったです。先生と、遊びがたくさんできて楽しかったです。

今は、友達と遊ぶのが楽しいです。これからも友達と仲よくしていきたいと思えます。

「終了のことば」 (通級終了生徒の保護者)(一部抜粋)

私と息子は、診断を受け、それまで分からないまま過ごしていたことがどうしてかということを知ることができましたが、これからどうしたらよいか、不安を抱え教室に通い始めました。初めは、いろんな問題も多く、その都度どのように対応していけば良いか丁寧に教えていただきました。友達との付き合い方や不得意なことをどのようにやっていけば良いか教えていただき、少しずつ成長することができました。私も、どのようにアドバイスをしていけば良いか分かるようになりました。

ある朝、問題をおこし、説得をしましたが「頭では分かっているけど、心が嫌だと思っている。」と言われたときは、本人の葛藤を助けてやれないことに親としての力不足を感じていましたが、学校で嫌なことも先生に伝えられ、また、先日は友人の不慮の失敗に対して「起きてしまったことはしょうがないんだよ。これからどうするかが大事だよ。」とアドバイスができた先生から聞き、本当に成長できたと思っています。先生がいるというだけで、安心感が生まれていたのだと思います。どうかこれからも子どもたちを見守っていただきますよう、お願い申し上げます。本当にありがとうございました。

